

第41回公演

「久美・美容室物語板橋公演」

団長の独り言

「受付スタッフさん達と」

劇団ふあんハウス公演にお越しいただいた方ならばお分かりかと思うが、劇団ふあんハウスの受付ブースには、大勢の受付スタッフさんが笑顔で皆様をお出迎えて、チケットの販売から場内のご案内、また最寄り駅から劇場までと劇場内でのガイドヘルプ、音声ガイドラジオの貸出、車椅子やストレッチャーのお客様へのフォロー等、開演前、開演中、開演終了まで丁寧にお客様への対応をしている。

その劇団ふあんハウス公演の玄関口である受付ブースを守っている数十名の皆さんは、全てボランティアスタッフさん。「初めまして」の方は毎回いらっしゃるが、ここ数年、公演の度に駆けつけて下さる方が増えてきて、今や常連の受付スタッフさんは20数名以上となり、大活躍して下さっている。

その仕事っぷりたるや臨機応変に次ぐ臨機黄変！しかもテキパキと動かれ、受付スタッフさん同士も顔見知りとなっているため、チームワークも出来上がっていて、何とも頼もしい限りだ。

こうした「劇団ふあんハウス・受付スタッフチーム」の礎を築いてくれたのは、かれこれ10年ほど前から劇団ふあんハウスに

携わってくれるようになり、今や受付リーダーとして、様々な改革と提案をしてくれる三尾さん。

公演終了後も受付スタッフさん達とともに、「気になった点」や「良かった点」等の意見交換を行うことを提案してくれたのは三尾リーダーだし、「振り返りシート」というものをエクセルで作り、受付リーダー達が共有する公演毎の改善点や反省点等を描きだすシステムを作り上げたのも三尾リーダーだ。

その三尾リーダーの下、徐々に「常連」の受付スタッフさんが参加してくれるようになるが、受付スタッフさん達と我々出演者メンバーが顔を合わせるのは、本番当日、集合した際にご挨拶をさせていた

ただその時は受付スタッフさんも我々も本番に向けての準備であわただしく、ゆつくりと話をさせていた。時間が取れず、ざっと私の中で気がかりだった。そこで、今回、「受付スタッフさんを囲む会」を企画した。

本日は、居酒屋等で盛大にやりたいところだが、緊急事態宣言が解除になったとはいえどもまだまだ「コロナウイルス」がはびこっている。都内某所の集会所をお借りして、参加者全員がフェイスシールドを付け、窓を開け放ち、お互いの距離も十分にとり、完成予防に注意を払いながら開催する事にした。

今回は、「久美・美容室物語」に携わって下さった受付スタッフさんを中心に声を掛けさせていただいたのだが、コロナ禍の中だし：：2、3名の方が参加してくればいいほうかな？と思っていたら、十数名の方が出席して下さいとの事！本当に感謝しかない。

当日、全体集合の1時間半前に会場入りすれば、「お菓子」とジュースを買い出しに行く劇団メンバーと丁度合流出来たので、飛沫感染予防シートの設置作業をはじめ、電子ピアノの準備、テーブルに名札とお菓子とジュースを用意して、ドキドキしながら皆さんのお越しを待っていると、お越しになりました！笑顔で皆さんをお出迎えし、間隔をあけた席へのご案内し、フェイスシールドを付けていただき会を開始する。

まずは私が開催の挨拶？的なものを簡単に言い、次に、皆さんの自己紹介と、劇団ふあんハウスに携わりたいと思われた理由をお聞きしていくと、会場の空気も和み始める。

そこで今度は劇団ふあんハウスの魅力と、実際に受付スタッフをされての忌憚のない感想等を聞かせていただく、「もってこい」したほうがいいという意見と共に、皆さんは、劇団ふあんハウスの魅力を熱く熱く語って下さる。

そんな皆さんの一生懸命さと熱意とやる気が、劇団公演を支えて下さっている

んだなあーとただただ感動し、今度は我々がお話をする番。

まずは私が劇団ふあんハウスをどうして立ち上げたか？という歴史から始まり、今では笑い話となる苦労した話や、失敗談等お話しさせていただき、普段、どんな稽古をしているのか？皆さんにもお見せすべく、「アマティー！夕日が沈むような曲弾いて！」とアマティーに突然攻撃すると、慣れたもので即興でオリジナルの曲「夕日のテーマ」を演奏してくれる。

その曲があまりにもいい感じだったので、今度は劇団メンバー達に、「はい！ここでセリフ！」と無茶ぶりすると、「えっ！？」となるものの、そこは芸達者ぞろい。即興でエチュードを演じ始める。

こうして会は盛り上がり、今度は次回作品「人生芸夢」のテーマ曲を歌い、劇中に登場するフーファーダンスを踊り！とさらに盛り上げ、皆さんが笑顔でリラックスされたところで、受付スタッフさんから我々への質問コーナーなんてのも行っていると、あつというまに2時間が経ち、気が付けば終了の時刻となる。最初はお互いに緊張していたのに、「帰りましょう」となっても皆さん名残惜しく、玄関先でも話が尽きない。

こうして受付スタッフさん達との充実した時間を過ごさせていただき、皆さんとの絆もさらに深まり、とっても楽しくて実り多い1日を過ごしました。